

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成24年度 第3回理事会 議事録

日 時：平成24年5月26日(土) 11:00～15:25

場 所：JBAオフィス 8F会議室

出 席：<理事>

麻生太郎会長、深津泰彦、伊藤善文、丸尾充の各副会長、樋口隆之専務理事、伊藤信明、臼井秀明、梅野哲雄、大滝和雄、片山正明、熊谷秀樹、鈴木秀太、品田奥義、田窪徹、夏目敏、野村俊郎、橋本信雄、林直樹、原田茂、松岡憲四郎、水谷豊、吉田長寿の各理事

<監事>

高原洋太郎監事

<特任委員>

阿部達也、大山妙子、高橋雅弘、西井歳晴の各特任委員

欠 席：上島正光、庄司義明、萩原伸浩の各理事、植田滋監事、

小倉恭志、坂本昌彦、手塚純、三木英之の各特任委員

オブザーバー：山谷拓志

議 題

- (1) 議事録について
- (2) 役員候補者選定委員会委員の選出について
- (3) 役員候補者の選定に関する件について
- (4) 新リーグ参加チームの追加募集について
- (5) bjリーグに対する今後の対応／コンプライアンス体制の構築について
- (6) 定款変更に伴う主たる事務所の変更について

1. 定足数の報告

松岡理事より定刻における出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(25名)の過半数の出席(出席:22名)を満たす為、会議成立が宣せられた。

尚、本日の新リーグの案件に絡み、オブザーバーとして山谷拓志氏が出席することが報告された。

2. 挨拶

麻生会長より開会の挨拶があった。

3. 議事

定款に基づき、議長は会長が務め、会長の指名により深津副会長が会議の進行を行った。

(1) 議事録について（深津副会長）

平成24年度第2回理事会(5月9日開催)議事録について、原案通り承認された。

<承認>

(2) 役員候補者選定委員会委員の選出について（樋口専務理事）

本議案に先立ち、5月24日に開催された会長候補者選定委員会について、委員の互選により選出された森野委員長(評議員)より会議の報告があり、会長候補者として麻生太郎現会長が満場一致で選出され、本日の臨時評議員会に提案する予定であることが報告された。

その後、役員候補者選定委員会のうち、理事代表の委員2名の選出について審議を行い、深津副会長、樋口専務理事を選出することが承認された。

<承認>

(3) 役員候補者の選定に関する件について（樋口専務理事）

評議員会の議長選出方法、会長候補者選定委員会委員の選出方法、役員候補者選定委員会委員の選出方法、および都道府県代表理事 3名の選出方法について、これまで4月22日、5月8日、5月24日と3度評議員の代表者(ブロック代表、連盟代表、学識代表)による協議が行われ、その中で、役員選定にあたってブロック代表の理事を現行通り9名置いてほしいという非常に強い意見が出されていることが報告された。これについて、役員選任は評議員の専権事項であるため評議員に任せればよい、選定委員会に理事が加わるという規程に瑕疵がある、役員を決定するのは評議員会であるが候補者を提案するのは理事会であってもよい、また組織運営を鑑みれば選考の場に現在の理事の参加は必要である、といった意見が出された。

「役員候補者の選定に関する規程」については、3月11日の評議員会で組織決定されたものであるため、これを尊重しながら、役員の職責を明確にした上で、9ブロックからの代表を理事、監事、特任委員に選任するなど弾力的に運用することが確認された。また、「役員候補者の選定に関する規程」については、2年後の役員改選までに見直しも含めて検討を行うことが承認された。

<承認>

(4) 新リーグ参加チームの追加募集について（丸尾副会長）

5月9日以降の進捗状況として、公募してきたチームの審査および実際のチーム数にあったリーグ概要の検討などを行っていることが報告された。また、新リーグ設立を見据えた今後の体制として、事業性を高めてプロフェッショナルの運営をするため、さらに、チームの経営のコンサルティングも必要となるため、JBL・リンク栃木ブレックスでの実績のある山谷拓志氏を新リーグ準備室のメンバーとして新たに登用することが承認された。尚、山谷氏については、同チームを運営する株式会社リンクスポーツエンターテイメントの代表取締役社長を今月末で退任し、あわせてJBL理事職も退任する予定であることが報告された。

次に、4月27日の新リーグ参加チーム公募締切以降、公募申込について数件の問合せがあること、また、6月23日のリーグ概要提案に向け、参加チームの決定には猶予期間があることから、問合せのあった団体を含めて広く門戸を開くために6月中を目処として追加募集を行うことが承認された。

尚、公募チームの詳細や問合せがあった団体も不明であることなどが指摘されたが、個別のチーム事情

やチームからの要望により現時点ではまだ報告できないことについて理解が求められた。

<承認>

(5) **bjリーグに対する今後の対応／コンプライアンス体制の構築について**（樋口専務理事）

JBAとbjリーグとの関係性は「リーグに関する規程」および両者で交わした覚書によって成り立っており、特に覚書においてはbjリーグが2013年に創設されるトップリーグに全面協力することが前提となっているが、2011年12月の新リーグ公募の際にbjリーグが実施した記者会見およびプレスリリースや5月15日の「2013年シーズンの新規チーム公募」の発表で2013年以降も存続していく意思を明示するなど、規程や覚書に相反すると考えられるbjリーグの度重なる言動について問題提起され、理事会としての問題認識の共有化が図られた。

また、bjリーグ所属選手の薬物問題やbjリーグの対応に関する内容など、公益財団法人化に伴ってコンプライアンスが益々重要になってくることから、コンプライアンス体制の構築のために独立機関(仮称:コンプライアンス委員会)を設置することが提案され、承認された。尚、メンバー構成等具体案は次回理事会にて改めて提案されることとなった。

<承認>

4. 報告事項

(1) **総務部**（松岡理事）

春の叙勲において、現神奈川県バスケットボール協会会長で、JBAの理事を長きに亘り務めていた阿部克三氏が旭日双光章を受章したことが報告された。

(2) **企画事業部**（吉田理事）

1点目として、今年度に新たに発行したメンバー登録証(JBA Point Card)について、カード発送に関することや個人情報の扱いなどについて都道府県協会等より問合せが来ていることが報告され、早い段階で十分な説明が出来ていなかったことのお詫びがあった。また、個人情報については、TeamJBAの利用規約に基づいてJBAが管理していること、登録証(JBA Point Card)はJBAより発行していることが補足された。尚、都道府県協会等に対しては、改めて文書での周知を行うことが報告された。

2点目として、男子国際親善試合の開催について、ウィリアム・ジョーンズカップ(8月18日～26日)やFIBA ASIAカップ(9月14日～22日)の開催日程などの事情から当初の計画を変更し、7月1日に大田区総合体育館においてFIBA ASIAカップの告知事業、また同体育館の柿落とし記念事業を兼ねた日本代表戦を行うことが報告された。

(3) **女子強化部**（高橋特任委員）

5月19日～22日に国際親善試合を行い、スロバキア代表に対して3戦全勝で終えたこと、また、その後、5月24日からの第5次強化合宿(トルコ遠征)に向けて選考した選手17名が報告された。

(4) **2011 FIBA ASIA女子選手権大会**（吉田理事）

日本スポーツ振興センターよりスポーツ振興くじ助成金40,144,000円の確定通知があり、2月に行った仮決算での見込額35,000,000円より5,144,000円増額となったことが報告された。

(5) **福岡県バスケットボール協会での懲戒処分について**（樋口専務理事）

昨年10月に部員の飲酒・無免許運転により指導監督責任として福岡県協会より懲戒処分を受けている福岡大学男子部の小牟禮育夫氏が対外活動停止の処分期間中(2011年10月1日～2012年7月1日)である今年3月に児童向けのバスケットボールクリニックを実施したことが発覚し、処分期間後に追加処分を科したことについて、福岡県協会からJBAに書面で報告があったことが報告された。

(※臨時評議員会開催のため、理事会を一時中断し、評議員会終了後に理事会を再開した。)

5. 議事

(6) **定款変更に伴う主たる事務所の変更について**（樋口専務理事）

評議員会にて承認された定款における「主たる事務所の変更」について、事務所を次の場所に定めることが承認された。

東京都品川区西五反田2-28-5 第2オークラブ内(移転日:2012年5月26日)

<承認>

以上